

令和6年度

松陰高等学校（通信制）評価 総括

岡山中央校

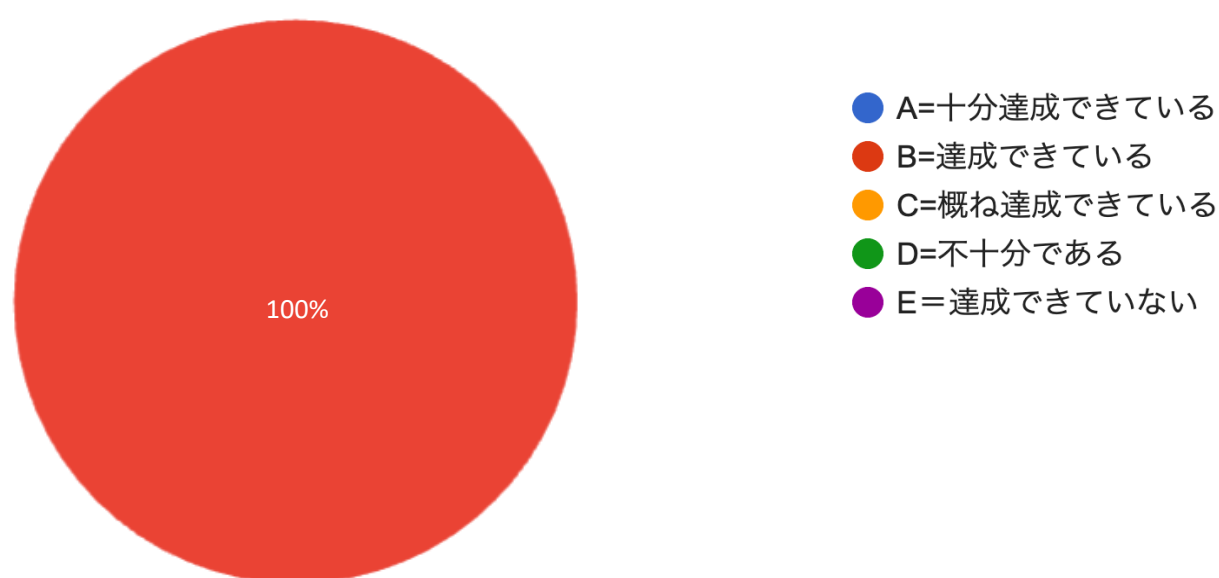
令和7年3月31日

【重点項目】生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上

【重点目標】

- ・スクーリング・レポート作成・テストへの個別指導の充実と教科内容の理解
- ・学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡
- ・「学習の手引き」の有効な活用
- ・個別面談の充実と進路実現へのサポート

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

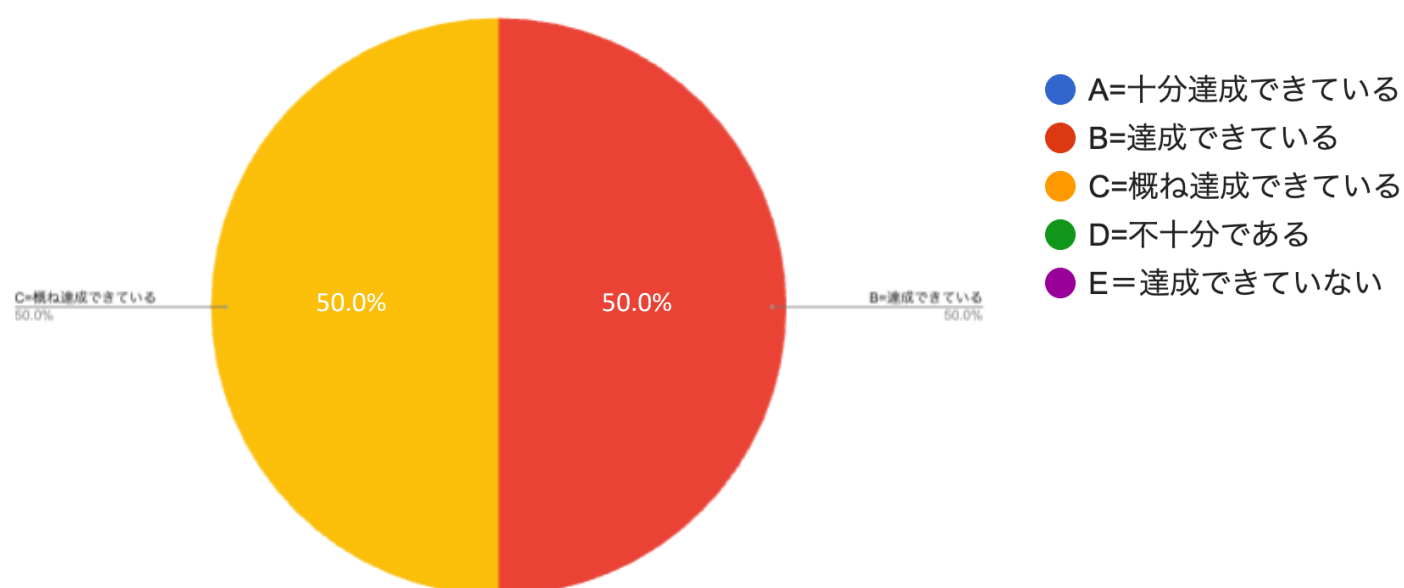
- レポート提出やスクーリング状況に関する個別の声掛けや意識づけはかなりこまめにできるようになってきた。出席の少ない生徒に関してもう少し保護者との情報共有や協力関係構築を充実させていきたい。個々の生徒に対してのスクーリングや個別指導の行い方を、今後とも工夫し充実させていく必要がある。
- 学習状況を常時把握し、適宜個別の声かけを行ない、補習スクーリングの実施等によって、単位取得につながる指導を実施することができた。美術に関しては単位を落とした者が数名出てしまったため、次年度以降はよりこまめな声かけや保護者との連携を充実させていく必要がある。
- 学習状況を常時把握し、適宜個別指導を実施することができた。次年度は、生徒がより計画的に学習を進められるような手立て(年間計画の提示、小まめな連絡等)を行う必要がある。
- 生徒一人一人に積極的に声かけをし、普段からレポート・スクーリングの進行状況を共有することができた。

【重点項目】望ましい職業感の育成

【重点目標】

- ・一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実
- ・進路ガイダンス・個別面談の質の向上

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

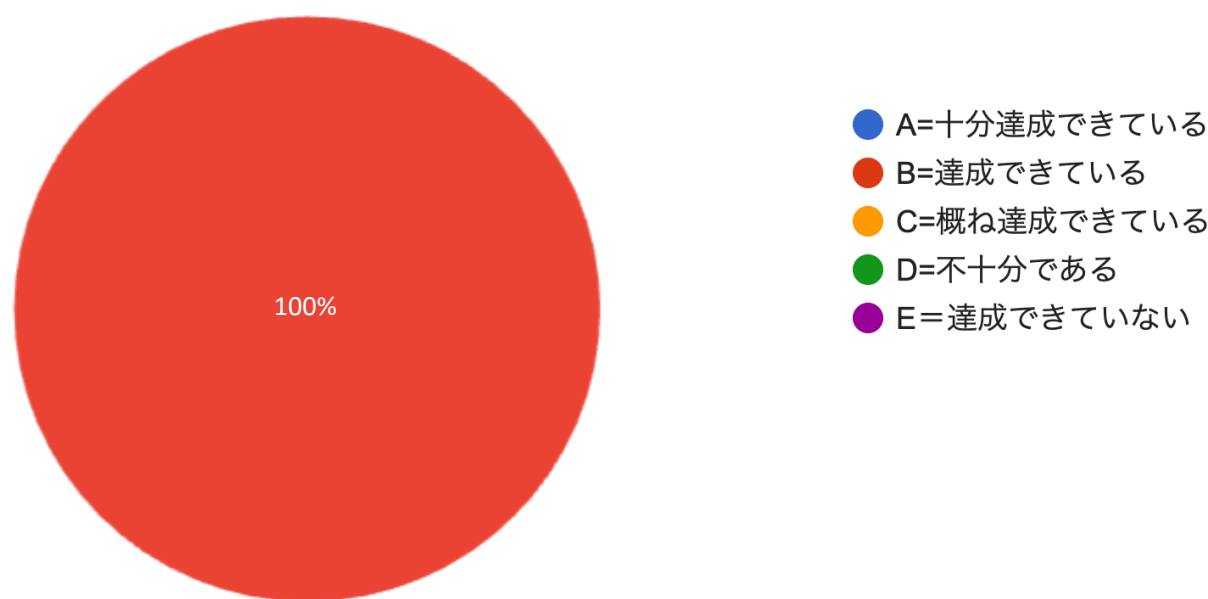
- 専門学校見学などのイベントを実施し、生徒の進学就職への関心づけを行なった。職業観育成を行う機会があったが、まだまだ個人への進路指導という部分においては、細やかさが足りない部分が見受けられた。
- 専門学校見学などによって生徒の進学・就職への関心付けを図っていったが、まだまだ個人への進路指導という部分においては、細やかさが足りない部分が見受けられた。
- 日常での声かけや活動を通して、進学・就職への意識を高めることができた。

【重点項目】基本的生活習慣と規範意識の確立（学校生活の安心と安全）

【重点目標】

- ・社会性と公共心の育成、規範意識の高揚
- ・教職員の共通理解による生徒指導体制の充実

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

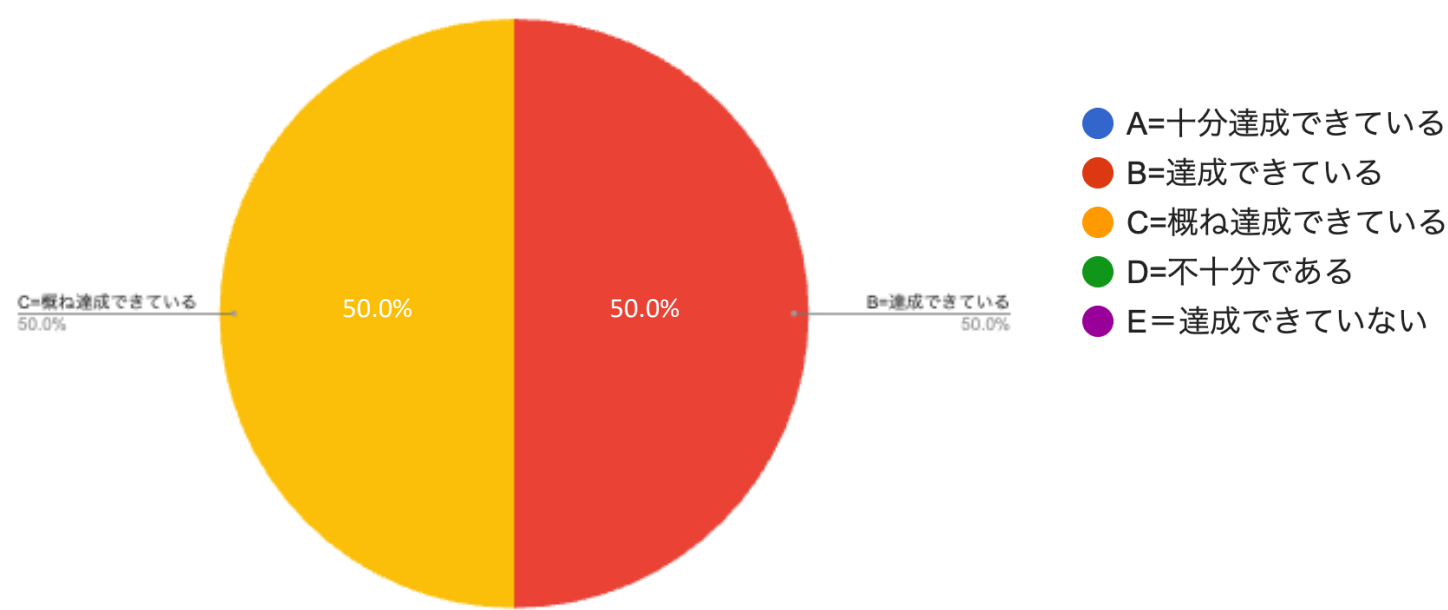
- 校外学習等で公共施設や学外で活動をすることで、社会的なマナーや公共心を育んできた。また、教職員間で情報共有をすることで指導体制の充実を図った。次年度についても継続して活動を通じての社会性、公共心の育成や教職員の生徒指導体制の充実を図っていく。
- 校外学習等で公共施設や学外で活動をすることで、社会的なマナーや公共心を育んできた。また、次年度についても継続して活動を通じての社会性、公共心の育成や教職員の生徒指導体制の充実を図っていく。
- 職員間の情報共有を徹底し、チームで寄り添い、対応することができた。

【重点項目】 健全な心身の育成

【重点目標】

- ・心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- ・教育相談体制の充実
- ・校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ・ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

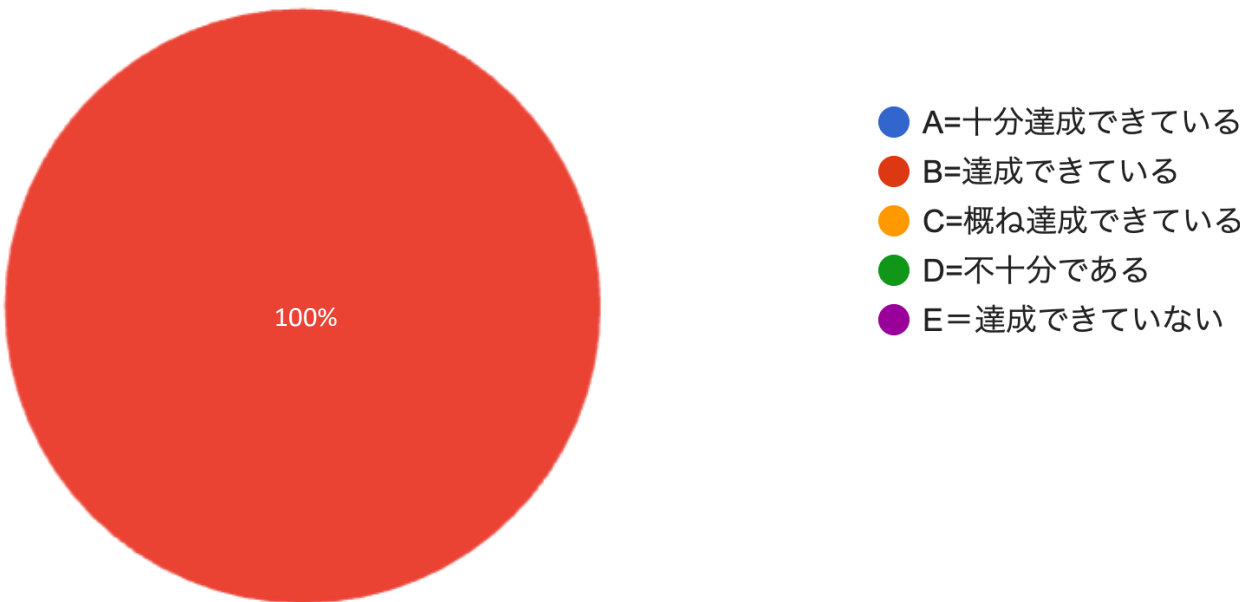
- 生徒とのコミュニケーションを大切にしながら、一人一人の困り感や不安感を解消できるよう、面談や保護者連絡、外部との連携を行った。次年度は支援が必要な生徒も多いため、より充実した教育相談体制を構築する必要があると考える。
ボランティア活動に参加することが難しかったので次年度の課題である。
- 生徒とのコミュニケーションを大切にしながら、一人一人の困り感や不安感を解消できるよう、面談や保護者連絡、外部との連携を行った。今後もより充実した教育相談体制を構築する必要があると考える。

【重点項目】 保護者及び家庭との連携

【重点目標】

- ・ 不登校、転編入生など多様な生徒への指導
- ・ 生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

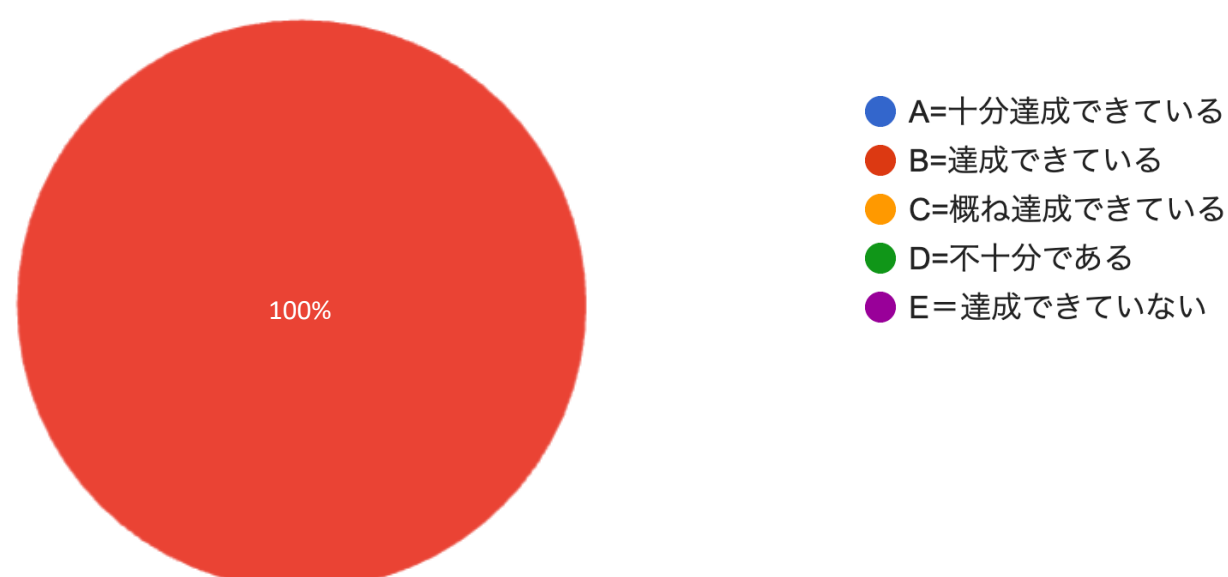
- メールや連絡網、書面での連絡は、かなり密に出来ている。心身の理由により、学校に来づらくなっている生徒に対して、教職員で生徒情報を共有し方針を固めた上で、保護者に説明し、家庭でも学校でも、生徒本人が苦しまないように配慮した、適切な対応を進めている。
- 連絡網や個別メールの活用により、学習の進捗状況報告や相談事についてなど、保護者との連携を図りながら学習活動を実施することができていたと感じる。一方、連絡のつきにくい保護者などいたため、双方への連絡を怠らず連携をより強化していく必要がある。
- 職員間での情報共有を徹底し、生徒の特性に配慮しながら対応できている。保護者との連絡も密に行なっている。

【重点項目】 郊外活動への積極的な参加

【重点目標】

- ・ 自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討
- ・ 特別教育活動への自主的参加奨励
- ・ ボランティア活動への積極的な参加奨励

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 年間を通して多様な校外活動を企画・実施することができた。活動の周知や参加者の募集に力を入れたこともあり、特別活動の時数に関わらず参加する生徒も数多く見受けられた。今後はボランティア活動や、地域との関わりを深める活動も取り入れられると良い。

- 校外活動の参加率は、高いと感じている。身近ながらも新しい体験ができるよう、工夫している。

【評価項目】 教務

【具体的目標】

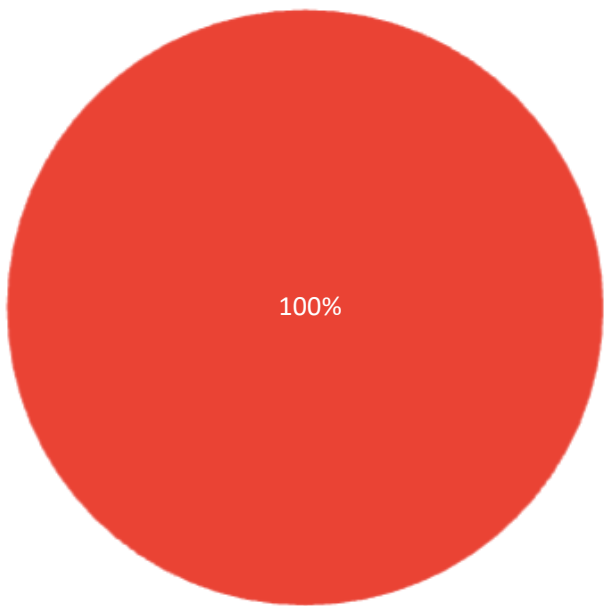
- ・ 生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、学校の運営に取り組む。
- ・ 基礎学力を定着させ、単位 修得に向けての学習の支援 を図る。

【具体的方策】

- ・ 教科の年間指導計画を作成し、教科教員間の指導の連携と充実を図る。
- ・ 「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。
- ・ スクーリングや校外学習を含む年間指導計画を作成し、生徒が積極的に参加できるようにする。
- ・ レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整える。
- ・ テストに向けた勉強の支援を行う。
- ・ 生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。
- ・ 支援システムの効率的な処理ができるようシステムの構築を図る。
- ・ 家庭との定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。
- ・ 教科担当によるレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図る。

A~Eで評価をしてください。

：



- A=十分達成できている
- B=達成できている
- C=概ね達成できている
- D=不十分である
- E=達成できていない

- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- レポートの提出状況やスクーリングの出席状況を定期的に家庭に報告し、情報共有や生徒への接し方などの方針共有の機会を増やした。状況が芳しくない生徒には提出や出席を促す頻度を増やし、昨年度までに比べて提出や出席状況等もかなり改善してきた手応えが感じられた。
全員が十分に理解が進むよう手助けを更に充実させていく。
- レポートの提出状況やスクーリングの出席状況を定期的に家庭に報告、情報共有し、状況が芳しくない生徒には提出や出席を促すことができた。放課後や夏休み中の補習などを活用し、前年度までと比べても大きな改善が見られるようになった。
- レポートの提出状況やスクーリングの出席状況を定期的に家庭に報告し、状況が芳しくない生徒には提出や出席を促すことができた。保護者・生徒への連絡を密にし、早目にスクーリングやレポートを仕上げるようにサポートした結果、多くの生徒が予定通りに終える事ができた。また、夏休み等を利用した補習スクーリングの機会を増やしたこともよい結果を生んだ。

【評価項目】 進路

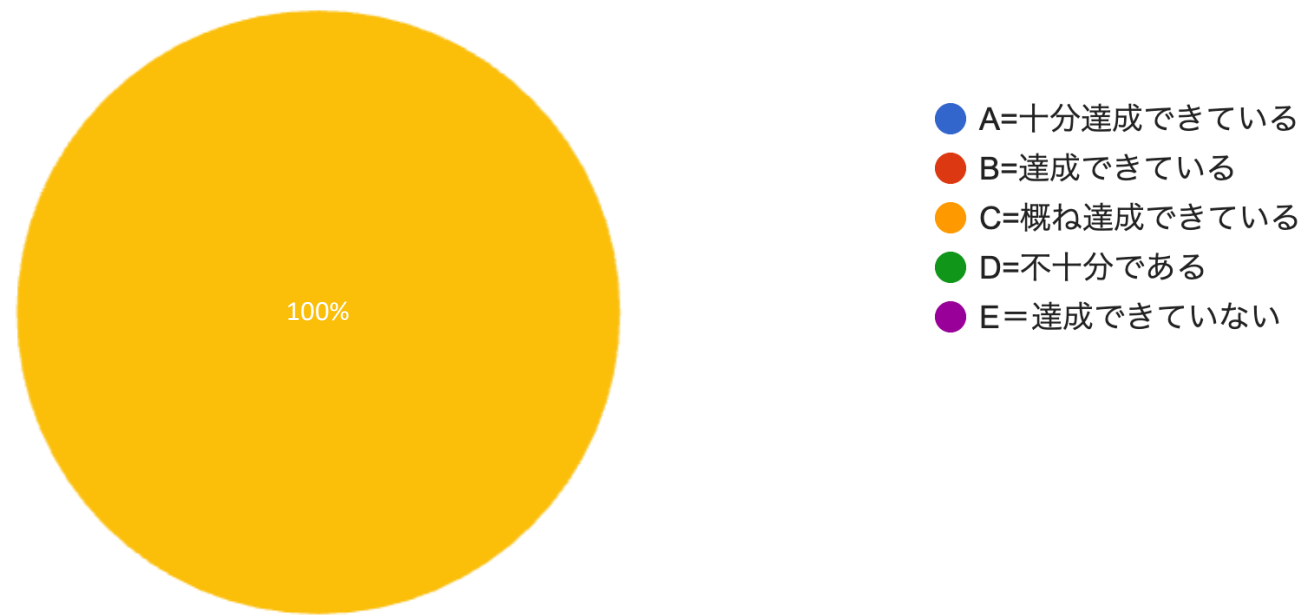
【具体的目標】

- ・ 生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。
- ・ 進路における情報収集を図る。

【具体的方策】

- ・ 自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。
- ・ 保護者との連携を深め、生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。
- ・ 進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。
- ・ 学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。
- ・ 個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒の自主性を重んじ、進路希望を出してきた生徒に対しては志望理由書の作成指導や面接練習など、こまめなサポートができたが、全体として系統立てた進路指導は行われていなかったように感じる。年間を通した進路指導や充実した情報提供、個別面談等の充実を行う必要があると考える。
- 生徒の自主性を重んじつつ、進路希望を出してきた生徒に対しては、志望理由書の書き方の指導や面接練習など、個別のサポートをすることが出来た。3年間、もしくは年間を通じた形での、全体として系統立てた進路指導はまだまだ改善の余地があるため、次年度以降はそちらも充実させていく。
- 個別の進路相談は実施していたものの、全体として系統立てた進路指導は行われていなかったように感じる。次年度は全ての学年において、年間を通した進路指導や充実した情報提供を行う必要があると考える。

【評価項目】生活指導

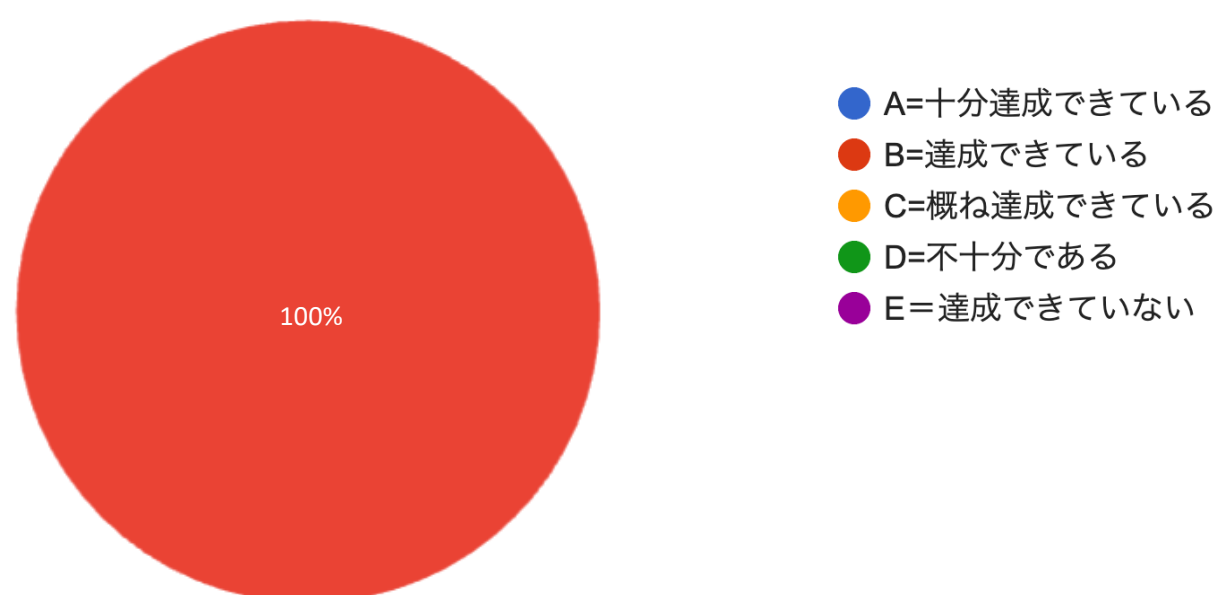
【具体的目標】

- ・学習する環境を整える。
- ・公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。
- ・思いやりのある心の育成を図る。

【具体的方策】

- ・場をわきまえた行動がとれるように個々への指導を深めると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。
- ・スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。
- ・人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようになる。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒指導において、特に困難をきたす事案は発生しなかった。次年度も、スクーリングや特別活動をはじめ、様々な機会において、個を大切にすること、またそのために協調性や道徳心、自分自身の行動責任が必要であることを理解する指導にあたりたいと思う。
- 生徒指導において、特に困難をきたす事案は発生しなかった。修学旅行など校外学習においても、概ね場のルールに則った行動ができていた。今後も、様々な機会において、自分自身の行動には責任が伴うことを理解させていくよう指導にあたりたい。
- 生徒指導において、特に困難をきたす事案は発生しなかった。次年度も、スクーリングや特別活動をはじめ、様々な機会において、個を大切にすること、またそのために協調性や道徳心、自分自身の行動責任が必要であることを理解する指導にあたりたいと思う。

【評価項目】いじめ対策

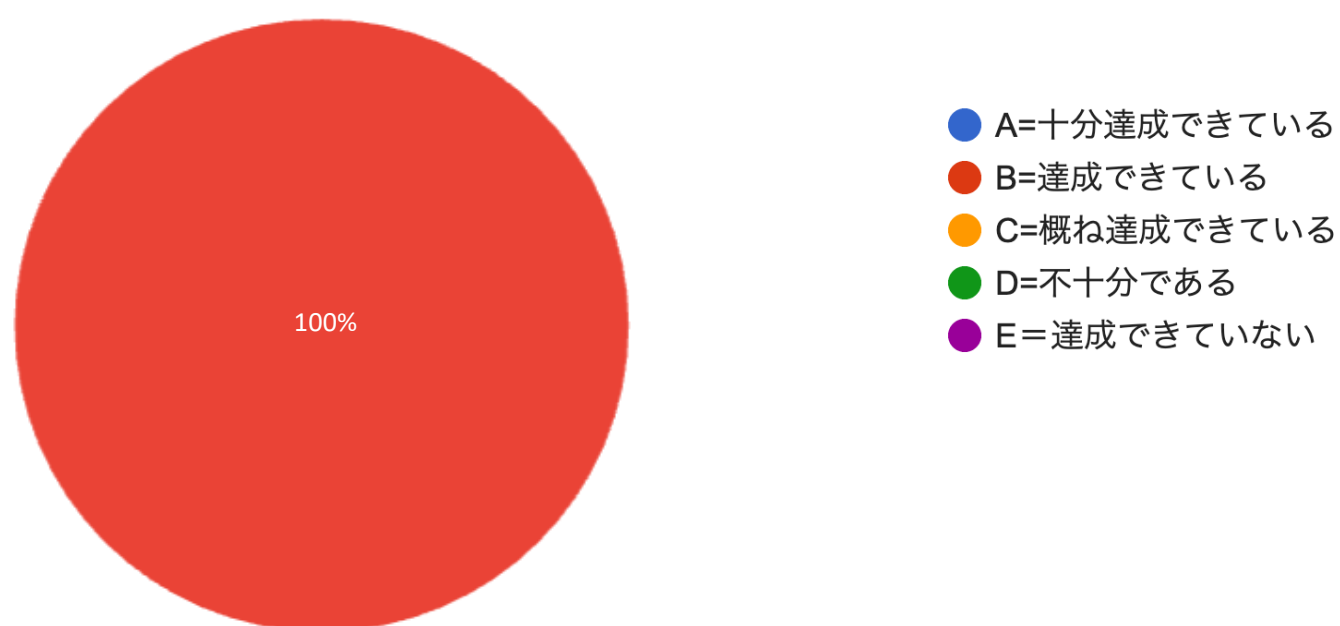
【具体的目標】

- ・ いじめ対策防止基本方針の策定を行い、学校の基本方針を明確にする。
- ・ 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。
- ・ ネットにおける生徒の動向を把握し、情報モラルの指導を行う。
- ・ 外部機関との連携を図る体制づくり

【具体的方策】

- ・ 生徒同士が生き生きと、お互いの良さを認める雰囲気作りに努める。
- ・ 生徒との信頼関係を構築し、生徒の心に寄り添った対応をする。
- ・ 教職員の情報交換を密にし、生徒の理解に努める。
- ・ インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 特にいじめとみなされるような事案はなかった。登校してきた際には積極的に挨拶や声掛けを行い、良い雰囲気づくりをしている。学校外での状況やSNS等の見えない部分にも気を配り、「いじめ」を未然に防ぐ対応をしていくことが今後の課題である。
- いじめに関わるような事案はなかった。次年度も、これまで通り、校舎内の良い雰囲気作りと、学校が個を認めあえる心地よいコミュニティーであることを意識した運営にしていきたい。

- いじめに関わるような事案はなかった。次年度も、これまで通り、校舎内の良い雰囲気作りと、個を認めあえる心地よい空間づくりを意識した運営にしていきたい。

【評価項目】 安全健康管理

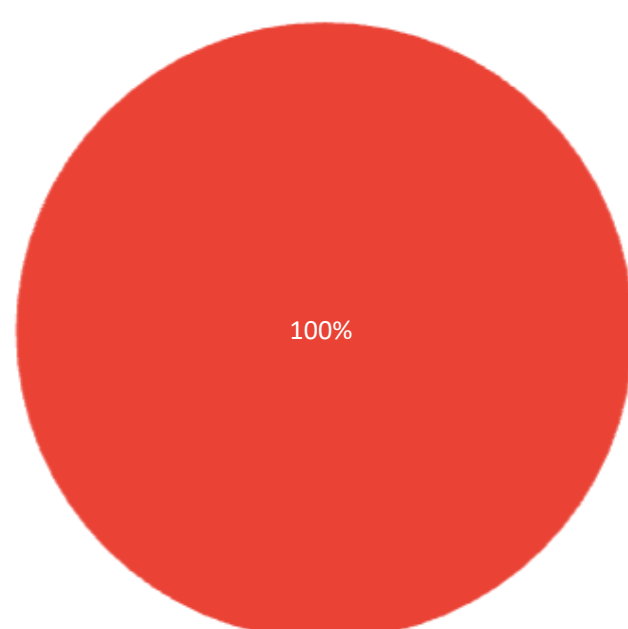
【具体的目標】

- ・ 心身の健康と自己管理能力の育成を図る。
- ・ 教育相談の有効活用を図り生徒の悩みに対応できる体制作りを行う

【具体的方策】

- ・ 生徒の健康診断を実施し、個々の健康維持・安全衛生面について配慮していくことで、生徒が良好な学校生活が送れるように努める。
- ・ 基本的生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。
- ・ 不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活が送れるよう信頼関係の構築に努める。
- ・ 不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。
- ・ 地域の関連機関との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。
- ・ 生徒の健全育成を図るため、社会のルールを守るよう指導する。

A~Eで評価をしてください。



- A=十分達成できている
- B=達成できている
- C=概ね達成できている
- D=不十分である
- E=達成できていない

- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 安全健康管理について、特に問題はなかった。通信制という特殊な環境なため、生活習慣が崩れる生徒もいるが、日々の声掛けや、保護者とも連携した指導を行うことで基本的な生活習慣の確立を図っている。持病のため登校中も人工呼吸器を使用しなければならない生徒もいたが、医療機関とも連携し、無事卒業させることができた。
- 安全健康管理について、特に問題はなかった。持病のため、登校中も人工呼吸器が必要な生徒がいたが、保護者やかかりつけの医療機関とも連携しながら、無事に3年間の学校生活を経て、卒業させることが出来た。
- 安全健康管理について、特に問題はなかった。健康上の理由で普段から呼吸器をつけて生活しなければならない生徒に関しても、保護者やかかりつけの医療機関と連携して、無事卒業を迎えさせることができたのが良かった。

【評価項目】 生徒募集

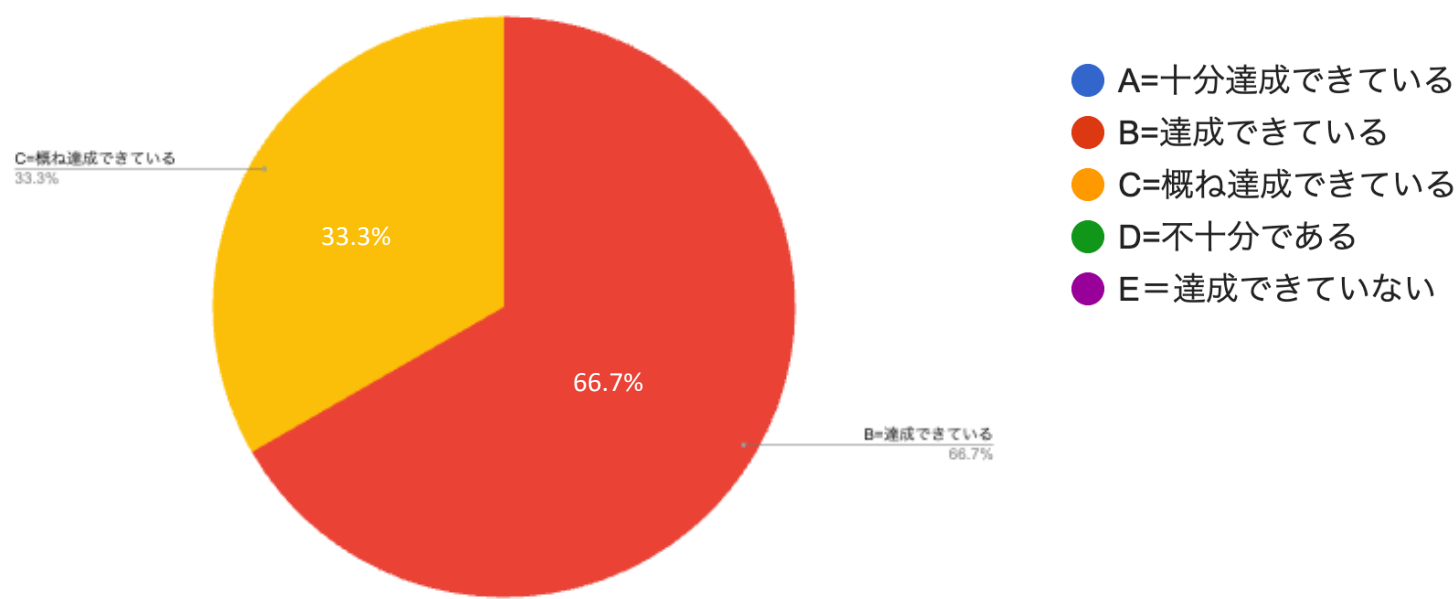
【具体的目標】

- ・ 生徒募集のための広報に努める。
- ・ 地域との連携を深めながら
- ・ 本校の教育目標を理解してもらう。

【具体的方策】

- ・ 学校案内パンフレット、ホームページの内容を工夫・充実させる。
- ・ 地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報に工夫・努力する。また、関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 主に中学校中心として3年担当教員や進路指導教員との面談広報や、合同説明会へのブース出展、オープンスクールの開催などを行い、生徒募集のための広報に努めた。
- 合同説明会へ積極的に参加し、学校説明会への問合せが増えている。中学校へも毎月1回ペースで訪問できており、学年団や担任との連携も取れている。松陰高校の特徴・魅力や、サポート校との違いを強調した説明の仕方を工夫していきたい。
- 合同説明会に積極的に参加した。学校への問い合わせも増加している。中学校へも毎月1回ペースで訪問で来ており、学年団や担任との連携も取れている。説明会の際、松陰高校の魅力や特徴、サポート校との違いをより強調して伝えられるよう工夫していきたい。

【評価項目】 教科

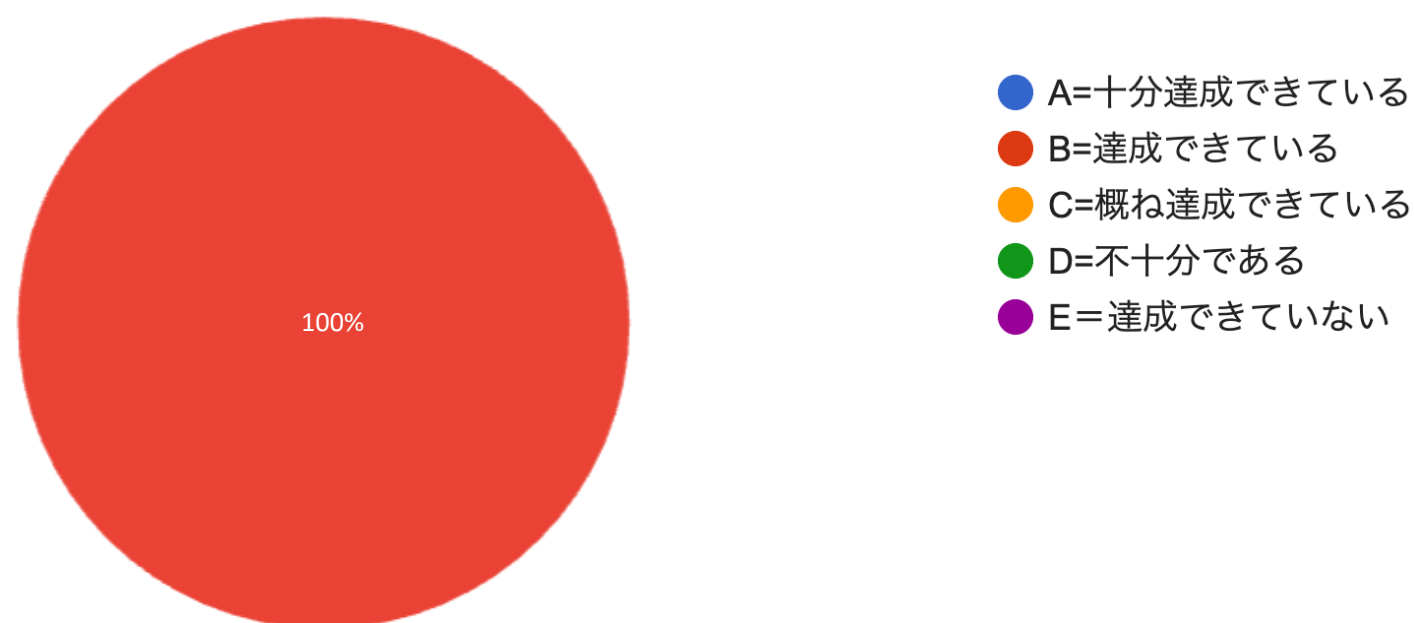
【具体的目標】

- ・ 個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践
- ・ 教科の特性を生かした指導
- ・ 担当教科との連携による生徒の指導と把握

【具体的方策】

- ・指導内容を振り返り、次のスクーリングに生かす。
- ・基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。
- ・生徒一人一人の能力・実態に合わせた教材の提供を行う。
- ・基本的生活習慣を身に着けさせ、計画的に学習させる。
- ・レポート指導や添削で生徒への理解をうながす。
- ・生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を図り、進路の実現を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- スクーリングを基本とした教科指導をはじめ、夏休み等のスクーリング補習などを設けることにより、個々の学習進度や理解に合わせた指導が行われた。学力の向上を図れるようなツールも導入し、更なる教科理解と進路実現を図りたい。
- スクーリングを基本とした教科指導をはじめ、夏休みなどを利用したスクーリング補習日や放課後の個別指導の時間などを設けることにより、個々の学習進度や理解に合わせた指導を行うことができた。次年度以降も、生徒がいつでも登校学習できる環境や雰囲気を整えていきたい。
- レポートやスクーリングの進捗状況を適宜把握し、生徒への声かけや保護者との情報共有・連携を増やすことによって計画的な学習を促すことができた。また、夏休み等の補習スクーリング日を設けることで、学習が遅れがちな生徒へのフォローを充実させることができた。

【評価項目】1年生

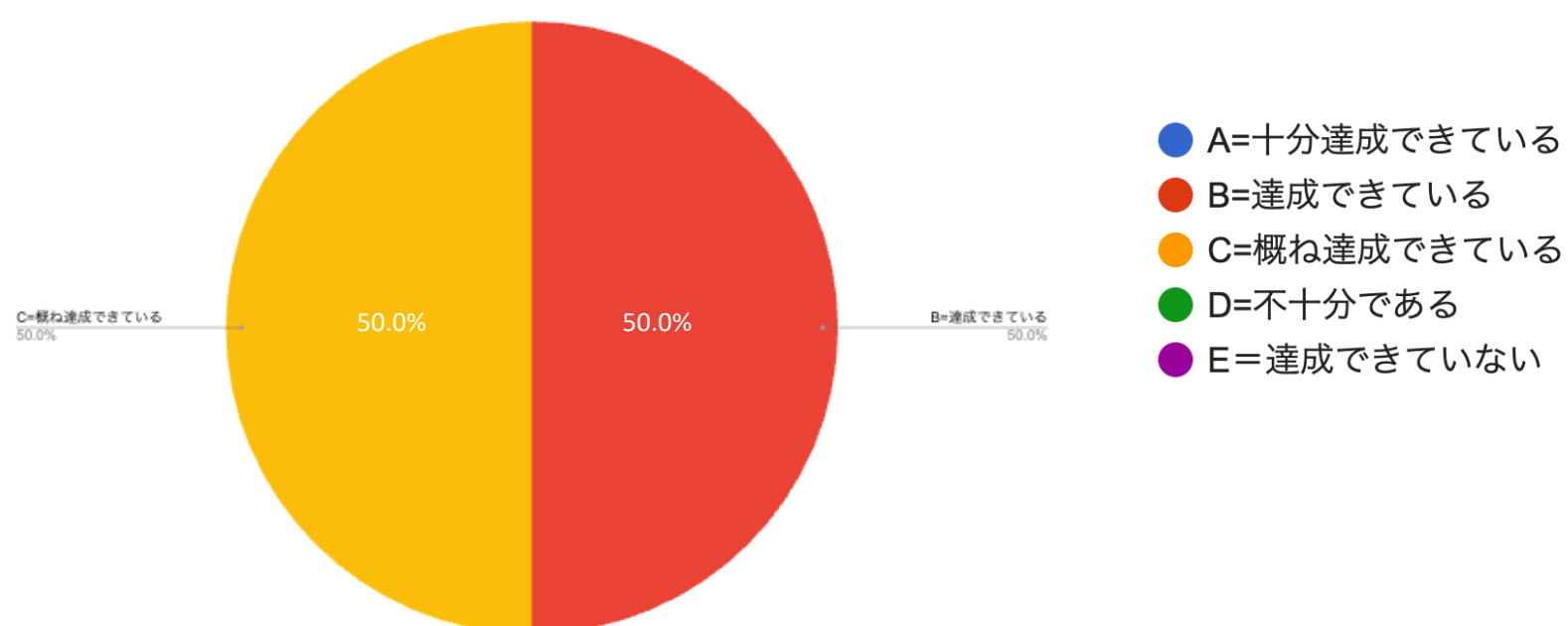
【具体的目標】

- ・ 基本的生活習慣の確立と学習活動の定着化
- ・ 学習環境作りの推進
- ・ 多様な生徒への配慮

【具体的方策】

- ・ 自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような環境作りを目指す。
- ・ 通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。
- ・ 場をわきまえた行動がとれるような学習の環境作りを施す。
- ・ 体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。
- ・ 生徒の様々な状況を把握し、各生徒に適切に対処できるように心がける。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 通信制高校での基本的生活習慣の確立や学習の仕方を指導・育成していくことができている。美術に関しては単位を落とした生徒が複数出てしまったため、次年度は特に状況把握や早目の声かけを心掛けていきたい。
- 通信制高校での基本的生活習慣の確立や学習の仕方を指導・育成していくことができている。美術に関しては単位を落とした生徒を複数出してしまったため、次年度以降は特に注意して出席や課題提出を促していきたい。

【評価項目】2年生

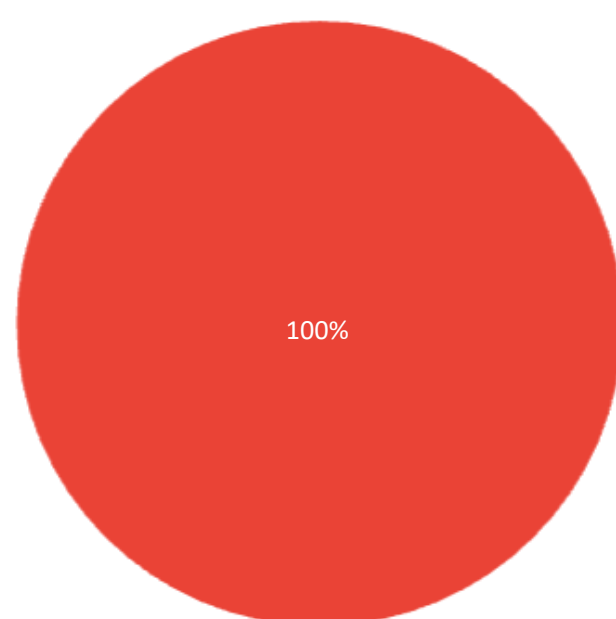
【具体的目標】

- ・ 学習の習慣化の定着による学力の向上
- ・ 進路意識の向上を目指す。
- ・ 学校行事への積極的参加

【具体的方策】

- ・ 個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指す、学力の向上を図る。
- ・ 悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応に心がける。
- ・ 進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。
- ・ 学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。

A~Eで評価をしてください。



- A=十分達成できている
- B=達成できている
- C=概ね達成できている
- D=不十分である
- E=達成できていない

- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 充実した学校生活を送れるような環境づくりに取り組んできた。早い時期から自身の進路に興味を持たせ、オープンキャンパスへの参加を促すなどの進路指導や、卒業後を見据えた生活指導も行っていく必要がある。
- 日々のコミュニケーションを通して生徒理解を深め、個々に応じた声掛けや指導を行うことができている。次年度は進路について考える機会を増やし、目的意識を持って日々の学習に取り組める環境づくりを目指したい。

【評価項目】3年生

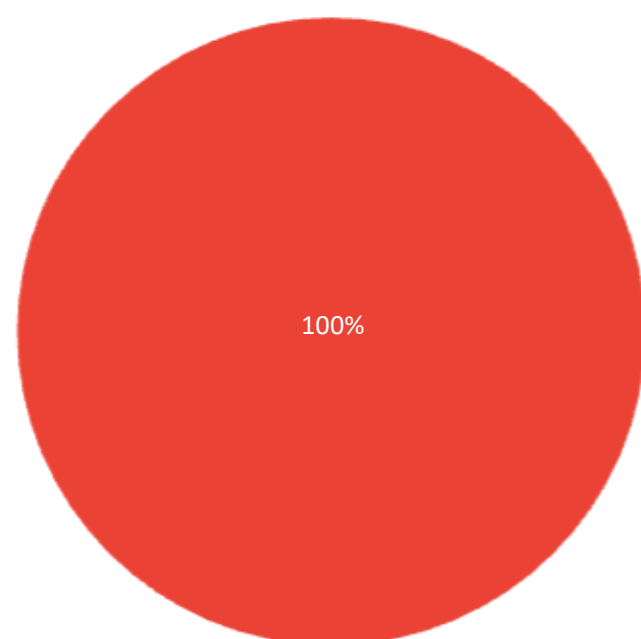
【具体的目標】

- ・単位取得の徹底と卒業への意識づけ
- ・進路希望の実現
- ・スクーリングや校外学習への積極的な参加による学校生活における充実感の向上
- ・学習意欲の持続・学力の向上
- ・進路指導の充実

【具体的方策】

- ・スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高める。そのためにも、生徒や家庭との連絡を密にとり、三者の思いを共有する。
- ・将来に向けての動機付けを行い、進路に対する意識を向上させる。
- ・経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。
- ・個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の卒業を確実に行う。
- ・常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。

A~Eで評価をしてください。



- A=十分達成できている
- B=達成できている
- C=概ね達成できている
- D=不十分である
- E=達成できていない

- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- レポートやスクーリング、単位認定試験において、期日をしっかり守り、前もって計画を立てて学習することができた。進路については自分自身の希望を明確に打ち出すことが出来る生徒とそうでない生徒で差があった。次年度以降、生徒自身が、自分に何ができるのか、何を克服すべきかを考え、覚悟をもって決断・行動できるような指導をさらに充実させていきたい。
- レポートやスクーリング、単位認定試験において、期日をしっかり守り、前もって計画を立てて学習することができた。また進路についても、自分自身の希望を明確に記すことができ、その実現のために自分自身が何ができるのか、何を克服すべきかを考え、覚悟をもって決断・行動していた。

【評価項目】 事務関係

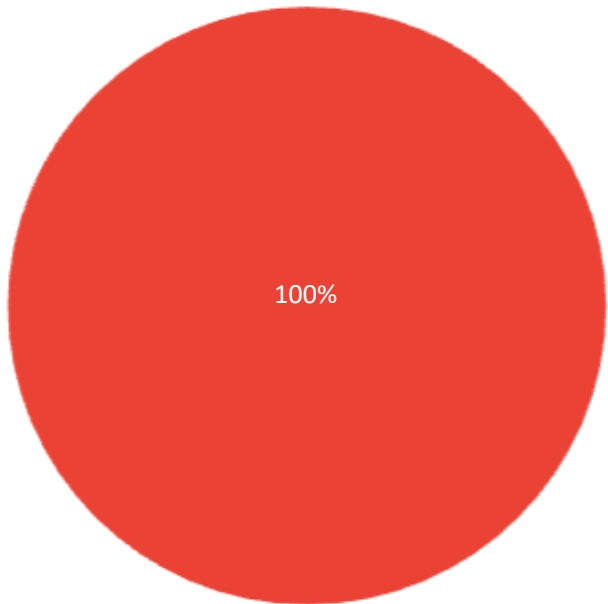
【具体的目標】

- ・ 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- ・ 関係機関との信頼関係の構築を図る。
- ・ 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようにする。

【具体的方策】

- ・ 学割や定期、願い届出等に対しての処理を適切に行っていく。
- ・ 関係機関との信頼関係を築きながら、必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布などを適切に行うようにする。
- ・ 学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようにする。

A~Eで評価をしてください。
：



- A=十分達成できている
- B=達成できている
- C=概ね達成できている
- D=不十分である
- E=達成できていない

- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 基本的にスムーズな対応を行うことができています。
- 学校全体の事務としては特に問題となる事象はなかった。